



2026年 特集号

編集・発行元 アップデート杉並 杉並区梅里1-16-4
(メール) update.suginami@gmail.com

特集号 topic

- 絶対に、いじめから杉並区の子供の命を守る!
- 善福寺川上流地下調節池の整備事業は本当に必要?

詳細は裏面へ

■大和田伸(おおわだ しん)プロフィール

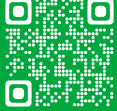
1980年9月9日生まれ(45歳・4児の父) / 石原のぶてる代議士(当時)の秘書(10年間) / 2011年杉並区議会議員選挙に初出馬し、トップ当選 / 第80代杉並区議会議長や特別区(23区)議長会会長(当時最年少)を歴任 / 東京高円寺阿波おどり振興協会、医療・障害者福祉・スポーツなど多くの分野で役職を拝命

あなたと共に、
未来をつくる



友だち募集中!

アップデート杉並の最新情報もお届けします。



政策・活動実績はホームページよりご覧ください!

<https://owada-shin.com>

アップデート杉並 代表

大和田伸

45歳
4児の父

5月31日(日)アップデート杉並総決起大会を行いました!



アップデート杉並

約1,000人の熱気に包まれた総決起大会

5月31日、杉並公会堂で開催した総決起大会には、約1,000人もの方々がお集まりください、会場は熱気に包まれました。

片山さつき財務大臣をはじめご来賓の皆様、衆議院議員 門ひろこ様、黒崎ゆういち様、そして応援議員団の皆様にも駆けつけていただき、現状の杉並区政をアップデートしたいとの思いで心を一つにすることができました。



大和田伸
アップデート杉並

代表の大和田伸は、「決められない区政から、決める区政へ」「区民の命と暮らしを守る区政へ」と訴えました。物価高対策として子育て・高齢者世帯などへの行政給付を一日でも早く実現したいこと、頻発する豪雨災害への備えとして善福寺川上流地下調節池の整備が急務であること、いじめ問題で苦しんでいる子供たちを徹底的に守りたいこと、その想いを皆様にお伝えし、リーダーが自ら判断し自ら動く、そのような杉並区政にアップデートしたいとの決意を述べました。

そして、「政治は希望であり、可能性。皆さんと一緒に、新しい杉並をつくりたい」との呼びかけに、会場からは大きな拍手と声援が送られました。

皆様からの温かい激励、寄せられた大きなご期待に応えるためにも、大和田伸はこれからも杉並の未来のために走り続けます。「あなたと共に、未来をつくる」アップデート杉並の実現に向けて、皆様のより一層のお力添えを賜いますように、お願い申し上げます。



杉並 アップデートミーティング 6月の予定



杉並アップデートミーティングで大和田伸と共に杉並のアップデートしたい政策や、あなたと共に作る未来を語り合いませんか。あなたのご来場をお待ちしています!



参加費 無料

当日参加 歓迎

お気軽にお越しください。

6月13日(土) 10時30分-11時30分

久我山会館

6月13日(土) 15時30分-16時30分

ウェルファーム杉並

※急遽変更となる場合がございますので、最新情報はHPまたは各種SNSにてご確認ください。

あなたの声を受け止め、杉並をアップデート!

Q 善福寺川上流地下調節池の整備事業は本当に必要なの!?

A 区民の命を守るために必要です!



そもそも「善福寺川上流地下調節池の整備事業」とは?

環状八号線などの道路の地下約40メートルに総延長約5.8キロ、容量約30万^mのトンネルを造る、令和23年度完了予定の都市計画事業。豪雨の際に取水施設から水を取り込むことで川の水位を下げ、氾濫を防ぐことを目的とした【東京都の事業】です。

なぜ必要なのか? 浸水対策は待たなし!

激甚化する豪雨への対策が急務

近年、1時間に50ミリを超える降雨回数は約1.5倍*に増加しており、令和7年7月には阿佐ヶ谷駅周辺が冠水するなど、水害リスクは益々高まっています。



*気象庁統計(1976~1985年平均と2013~2022年平均の比較)

過去の甚大な被害

平成17年9月の集中豪雨では、善福寺川流域で約1,700棟もの浸水被害が発生しました。こうした被害を繰り返さないための対策は「一刻を争う重要な課題」とであると認識されています。

調節池の高い実効性

神田川・環状七号線地下調節池が整備されたことで、同規模の降雨における浸水家屋数が激減(3,117戸から46戸へ)したという明確な実績があります。調節池の整備こそが、区民の命を水害から守る最も効果的な手段です。

杉並区の対応は不誠実

経緯

工事については、公園内の樹木への影響を極力減らすように計画していますが、岸本区長は着工を遅らせるなどの対応を取るよう、工事開始直前の5月8日に東京都に申し入れたと、5月10日に公表しました。工事開始日5月11日には、反対住民が集まり抗議したため作業が中止となっています。

問題点

水害のリスクが高まっていることから、早期の着工を求める流域住民の方も多数いらっしゃいます。住民の命を守るために必要な事業を進めるべきです。そもそも、工事開始直前に着工を遅らせるよう一方的に申し入れるのは、東京都に対して「非常に不誠実」な対応であると思います。

大和田伸の意見



1日も早い整備を!

「いつ起こるか分からない水害」から住民を守るためには、善福寺川上流地下調節池の実効性を重視して、1日も早い整備に向け、事業を進めるべきだと考えます。

決定済み事項の停滞への批判 本事業はすでに令和7年1月に都市計画事業として認可されており、適法な手続きに則ったものです。

基本協定の遵守 杉並区は東京都と令和7年7月に整備に係る基本協定を締結し、その中で「事業の円滑な実施について相互に協力する」としております。着工直前になって、一部の反対住民の声のみを聞いて「住民の理解がまだ十分とはいえない」ことを理由に延期を求めることは、行政として無責任ではないでしょうか。

説明会の実績 すでに住民説明会やオープンハウスは18回開催されており、必要な周知は行われています。実際に、流域住民の中には早期の整備を求める声も多数あります。

長期にわたる事業であり、これからも近隣住民の不安にしっかり対応していくことはもちろんですが、何よりも、区民の命を水害から守るために、1日も早い整備が必要であると考えています。

いじめ重大事態※への対応遅れ・放置

※いじめにより、子供の生命・心身・財産に重大な被害が生じた、あるいは長期の不登校となっている疑いがある事態のこと

絶対に杉並区の子供の命を守る

杉並区における、いじめ重大事態の発生状況

杉並区内では、平成27年以降に14件の「いじめ重大事態」が発生しています。令和8年4月現在で、そのうち3件の調査が完了し、区長への報告がされていますが、11件は現在も調査中という状況にあります。また、近年はいじめが多様化・複雑化しており、令和5年度には4件、令和6年度には6件と、重大事態の発生数が増加傾向にあります。

具体的な事案の例

■小学校での事例

クラスメイトから仲間外れや暴力などのいじめを継続的に受けたことにより、児童が不登校となった



■SNSによる問題

SNSでの陰湿な悪口等により、日常生活にも支障が出るほどの精神的苦痛を受けた

区長と教育長も過去の対応の問題を認めて謝罪

岸本区長・渋谷教育長は4月6日、区のこれまでの対応については、重大事態の認定の遅れやその後の調査に長期間を要しており、被害児童・生徒や保護者に多大な不安と心痛を与えたと、深刻な課題があったと認めました。

大和田伸の意見



いじめから“真に子供を守る”体制づくりを!

区長がいじめ問題の先頭に立ち、杉並の子供たちは杉並区が守る覚悟で、着実に実現していく必要があると考えます。

そこで、教育委員会だけに任せるのではなく、区長直轄組織で「いじめを直ちに止める」体制を構築します。

これまでの実績を踏まえて

令和6年度、私は区議会議員として「いじめの防止等に関する条例」の策定を提案し、実現。成果として、令和7年度に区教委の中に「学校問題対応支援係」(CEDAR:シダー)が設置されました。しかし、各所との調整に時間を費やしている現実もあるため、寝屋川市や品川区のように、スピード感を持って直ちにいじめを止めます。

いじめ対策の先進自治体!

コラム 寝屋川市へ視察に行きました!

「子供たちを徹底的に守り抜く」首長の覚悟から生まれた先進対策

日本の教育行政は政治的公平性を保つため、首長から独立した教育委員会が学校の監督権を持っています。そのため、首長直轄組織には直接の命令権を持たせにくく、現場の混乱を招くリスクがあります。しかし、寝屋川市はこの壁を突破するため、教育委員会から独立した市長直轄の「監察課」を設置。さらに、学校へ介入する法的な難しさを乗り越えるべく独自の条例を令和元年に制定しました。この強力な権限を持った「寝屋川モデル」は、広瀬市長の強いリーダーシップと覚悟のもと、学校と連携して子供たちを徹底的に守り抜く仕組みとして、現在全国から注目を集めています。

広瀬市長のいじめ対策に関するお考えを直接伺いました



皆様はこの問題をどう考えますか?
お気軽にご意見をお寄せください。

第80代杉並区議会議員・アップデート杉並代表

大和田伸へあなたの声を届けよう!

実施中! まちの御用聞き!

杉並アップデートプロジェクト

右記QRコードのリンク先にある、受付フォームよりアップデート杉並の政策に対するご意見や杉並の未来に対する気持ちなど、お気軽に送信してください。

いただいた声は、街頭演説・配信動画などでも取り上げ、杉並区政のアップデートへ取り入れていきます。

